

健診を受ける理由はコレ!

みなさん、毎年健診を受けていますか? 健診は何のために受けるのでしょうか?

パパは健診で病気が見つかって、大事に至らずすんだぞ!

パパ・50代

今日は健診だっしー!

社会人になってまで健診受けるのか。学生みたい。めんどくさいな。

息子・社会人

ママ・40代
専業主婦

娘・高校生

理由1 病気を予防するため

健診結果に「アブナイな」と思われる数値や「要再検査」等の項目はありませんか? 健診を受けることは、病気になるのを未然に防ぐことにつながります。

また、毎年検査を受けることで、経年変化に気づきやすくなります。

若いうちから意識したほうがいいぞ!

毎年健診を受けると、自覚症状が出にくい項目の変化も気づきやすくなるぞ

体重だけでなく、血圧、血糖値、コレステロール値なども要チェック!



就職してから1年で2kg太ってる...

理由2 病気を早期発見・早期治療するため

自覚症状が出る前に病気を早期発見し、早期治療することができます。治療期間も短くなり、身体的にも負担が少なくなります。

病気が早く治れば、家族が心配する時間も短くなるわね♪



パパが入院したときは、どうなることかと思った〜

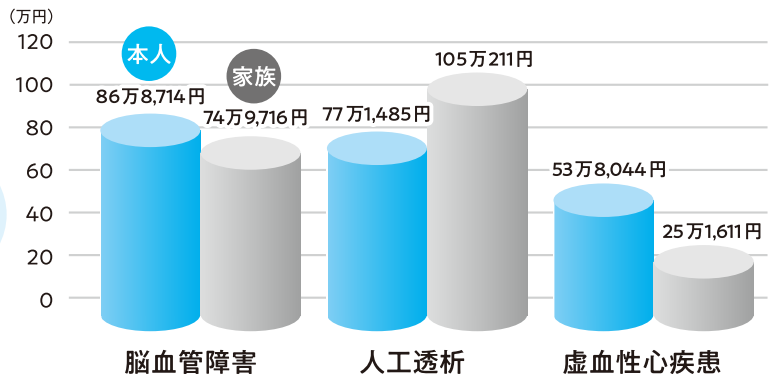
理由3 医療費の節約につながるため

健診で見つけた病気を早期に治療すれば、医療費も少なくて済みます。

家計にやさしいことに加え、共済組合の財政からの支出も抑えられて、共済組合も助かります。



生活習慣病 疾患別推計 1入院あたり医療費



(健康保険組合連合会「平成28年度生活習慣病医療費の動向に関する調査分析」より)

※自己負担は基本的に上記の3割となります。※高額療養費により自己負担が軽減される場合があります。※人工透析については、自己負担が1ヵ月1万円(所得によっては2万円)となる制度があります。

みなさんの健康を守るために 共済組合が行っている事業

◆ 特定健診・特定保健指導

特定健診とは、40歳~74歳の方が受ける、メタボリックシンドロームの予防や早期発見のための健診です。

特定健診でリスクが高かった方は、**特定保健指導**を受け、保健師や管理栄養士などのプロからアドバイスを受けながら生活習慣改善に取り組んでいただきます。

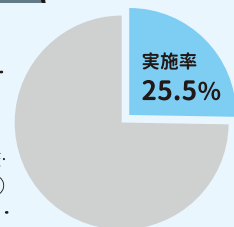
▶メタボリックシンドロームの詳しい説明は、次のページをご覧ください!



参考 特定保健指導の実施率

特定保健指導の実施率は、共済組合全体で3割にも及びません。生活習慣を改善するためのプロのアドバイスを、無料で受けられるチャンスです。案内が届いた方は、ぜひ受けてください。

●特定保健指導の実施率 (共済組合全体)
(厚生労働省「2017年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について」より)



◆ データヘルス計画

すべての共済組合に対し、健診や医療費のデータ分析に基づく、加入者の健康状態に合わせた効率的・効果的な保健事業計画の実施が求められています。この事業計画のことを「**データヘルス計画**」といいます。

現在は平成30年度から6年間の「第2期データヘルス計画」を実施中です。

データヘルス計画

- 特定健診を受けていない方に、受診を促します
- 特定保健指導を受けやすくします
- ジェネリック医薬品の利用を促します
- 乳がん検診を受診しやすくします など

